

# 日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド 毎月分配型（トルコリラコース）

追加型投信／海外／債券

## 交付運用報告書

第194期（決算日2025年8月15日） 第195期（決算日2025年9月16日） 第196期（決算日2025年10月15日）  
第197期（決算日2025年11月17日） 第198期（決算日2025年12月15日） 第199期（決算日2026年1月15日）

作成対象期間（2025年7月16日～2026年1月15日）

第199期末（2026年1月15日）	
基準価額	1,544円
純資産総額	13,217百万円
第194期～第199期	
騰落率	26.1%
分配金（税込み）合計	30円

（注）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

（注）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要な事項にかかる情報を記載したものです。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>

右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（トルコリラコース）」は、2026年1月15日に第199期の決算を行ないました。

当ファンドは、主として、米ドル建ての新興国ソブリン債を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっております。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

<952826>

## アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号  
www.amova-am.com

2025年9月1日付で、日興アセットマネジメント株式会社から社名変更しました。

当運用報告書に関するお問い合わせ先

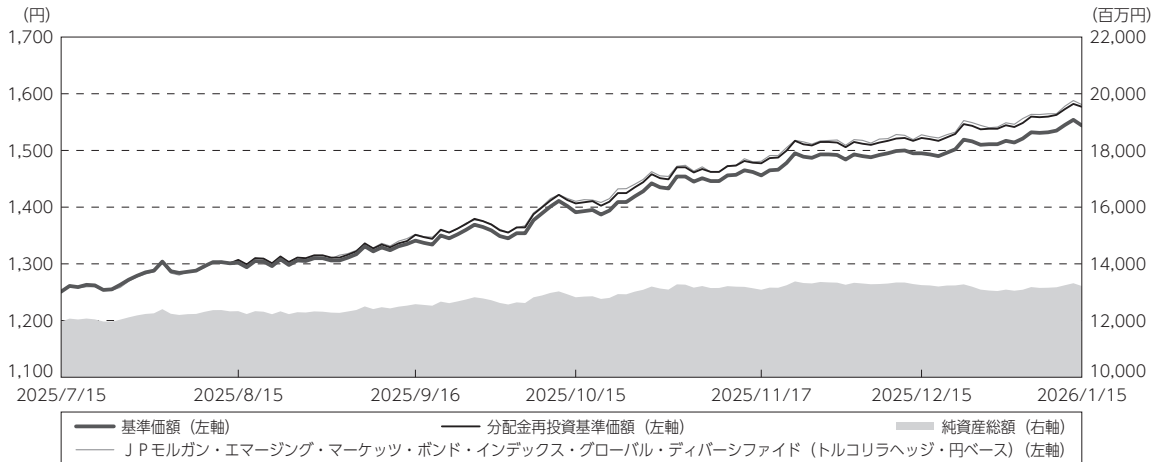
コールセンター 電話番号：0120-25-1404  
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

## 運用経過

## 作成期間中の基準価額等の推移

(2025年7月16日～2026年1月15日)



第194期首：1,251円

第199期末：1,544円 (既払分配金 (税込み) :30円)

騰 落 率：26.1% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。  
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。  
 (注) 分配金再投資基準価額および J Pモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・ディバーシファイド (トルコリラヘッジ・円ベース) は、作成期首 (2025年7月15日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。  
 (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。  
 (注) J Pモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・ディバーシファイド (トルコリラヘッジ・円ベース) は当ファンドの参考指数です。

## ○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、米ドル建ての新興国ソブリン債を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっております。また、投資先の投資信託証券においては、原則として、ファンドの純資産相当額の米ドル売り、トルコリラ買いの為替取引を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

## &lt;値上がり要因&gt;

- ・組み入れていた新興国債券から利息収入を得たこと。
- ・アメリカドル建て新興国債券のスプレッド (利回り格差) が縮小したこと。
- ・米国国債利回りが低下 (債券価格は上昇) したこと。
- ・円/トルコリラについて、為替はほぼ同様の推移だったものの、為替ヘッジプレミアムを獲得したこと。

## &lt;値下がり要因&gt;

- ・保有している一部の現地通貨建て新興国債券のスプレッドが拡大したこと。

## 1万口当たりの費用明細

（2025年7月16日～2026年1月15日）

項 目	第194期～第199期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	12	0.887	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	( 7 )	( 0.482 )	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（ 受 託 会 社 ）	( 5 )	( 0.388 )	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
	( 0 )	( 0.017 )	
(b) そ の 他 費 用	0	0.008	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	( 0 )	( 0.002 )	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 等 ）	( 0 )	( 0.005 )	印刷費用等は、法定開示資料の印刷に係る費用など
合 計	12	0.895	
作成期間の平均基準価額は、1,403円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

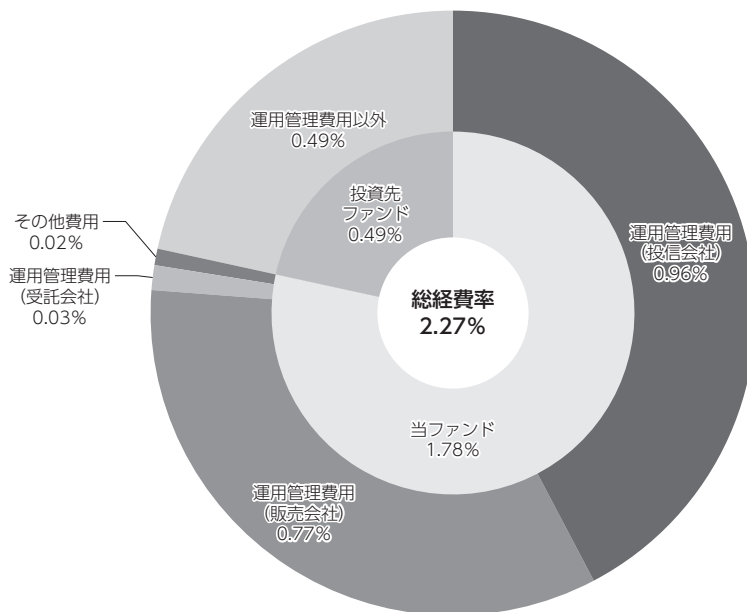
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

## ○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.27%です。



(単位: %)

総経費率(①+②+③)	2.27
①当ファンドの費用の比率	1.78
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	—
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.49

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認いただけますが、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）です。

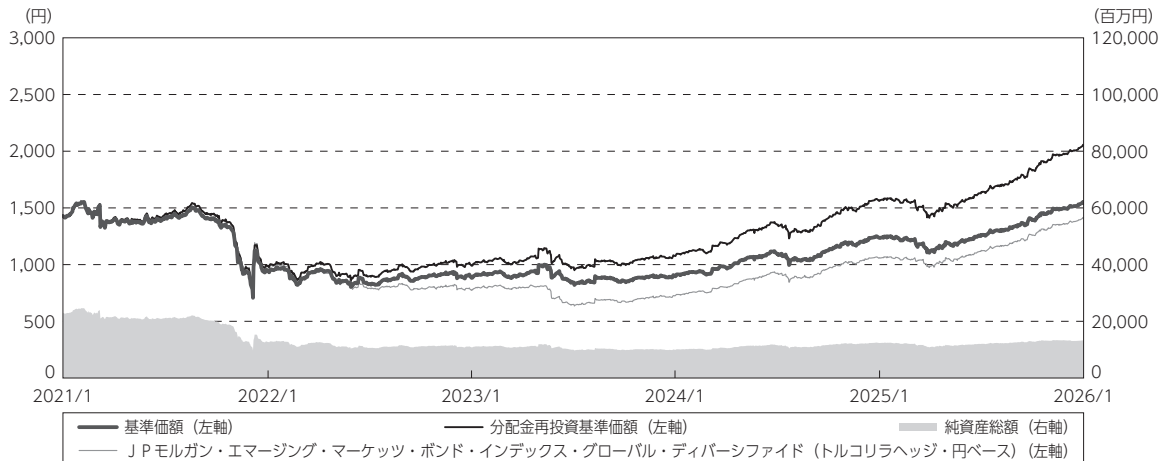
(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

(2021年1月15日～2026年1月15日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額および J.P. Morgan Emerging Markets Bond Index Global Diversified (TRY Hedged, Yen Basis) は、2021年1月15日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2021年1月15日 決算日	2022年1月17日 決算日	2023年1月16日 決算日	2024年1月15日 決算日	2025年1月15日 決算日	2026年1月15日 決算日
基準価額 (円)	1,430	940	883	897	1,236	1,544
期間分配金合計(税込み) (円)	—	60	60	60	60	60
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 31.1	0.5	8.7	45.8	30.8
J.P. Morgan Emerging Markets Bond Index Global Diversified (TRY Hedged, Yen Basis) 騰落率 (%)	—	△ 31.5	△ 21.1	△ 6.2	46.4	32.9
純資産総額 (百万円)	22,973	12,675	10,807	9,954	12,344	13,217

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

(注) J.P. Morgan Emerging Markets Bond Index Global Diversified (TRY Hedged, Yen Basis) は当ファンドの参考指数です。

参考指数は投資対象資産の相場を説明する代表的な指数として記載しているものです。

## 投資環境

（2025年7月16日～2026年1月15日）

## （新興国債券市況）

新興国債券市場は期間を通じて上昇しました。期間の前半においては、米中貿易協議において関税停止期間が再延長されたことや、追加合意に至ったことなど、具体的な進展が見られたことから、貿易摩擦の懸念が和らぎ同市場は堅調に推移しました。期間の後半では、米国において労働市場の軟化が見られ、景気減速懸念の高まりに伴ないスプレッドが拡大する局面も見られたものの、インフレ率の低下を受けて米国F R B（連邦準備制度理事会）が利下げを実施したことによる米国債利回りの低下が下支えとなり、新興国債券市場は堅調に推移しました。

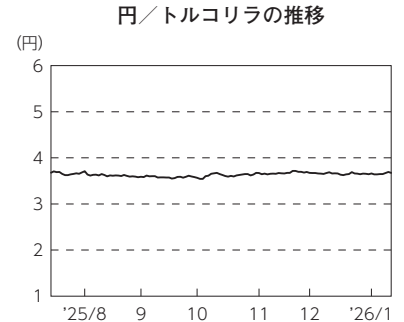
## （国内短期金利市況）

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの0.48%近辺から、2025年12月の日銀金融政策決定会合において追加利上げが決定されたことなどを受けて、0.73%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（T B）3ヵ月物金利は、期間の初めの0.38%近辺から、日銀による利上げなどを受けて、0.70%近辺で期間末を迎えました。

## （為替市況）

期間中における主要通貨（対円）は、右記の推移となりました。



**当ファンドのポートフォリオ**

（2025年7月16日～2026年1月15日）

**（当ファンド）**

当ファンドは、収益性を追求するため、「PIMCO エマージング・マーケット・ボンド・ファンドⅡ トルコリラクラス」受益証券を高位に組み入れ、「マネー・オープン・マザーファンド」受益証券への投資を抑制しました。

**（PIMCO エマージング・マーケット・ボンド・ファンドⅡ トルコリラクラス）**

当ファンドでは新興国債券市場の信用リスクの取得については慎重な姿勢を保ちつつも、投資妙味の高い国を厳選して投資を行ないました。具体的には、IMF（国際通貨基金）からの支援が期待できるコートジボワールやエクアドルなどについて、参考指数対比での積極的な投資姿勢を維持しつつ、グアテマラなどのBB格の国への投資については積み増しを行ないました。他方で、良好なシナリオが債券価格に織り込み済みであり、投資妙味が低いと考えるフィリピンやウルグアイ、マレーシアなどは、参考指数対比での消極的な投資姿勢を維持しつつ、長期でのクレジットリスクが高まりつつあると評価しているサウジアラビアなどについてはリスクを削減しました。

また、原則として、ファンドの純資産相当額の米ドル売り、トルコリラ買いの為替取引を行ないました。

**（マネー・オープン・マザーファンド）**

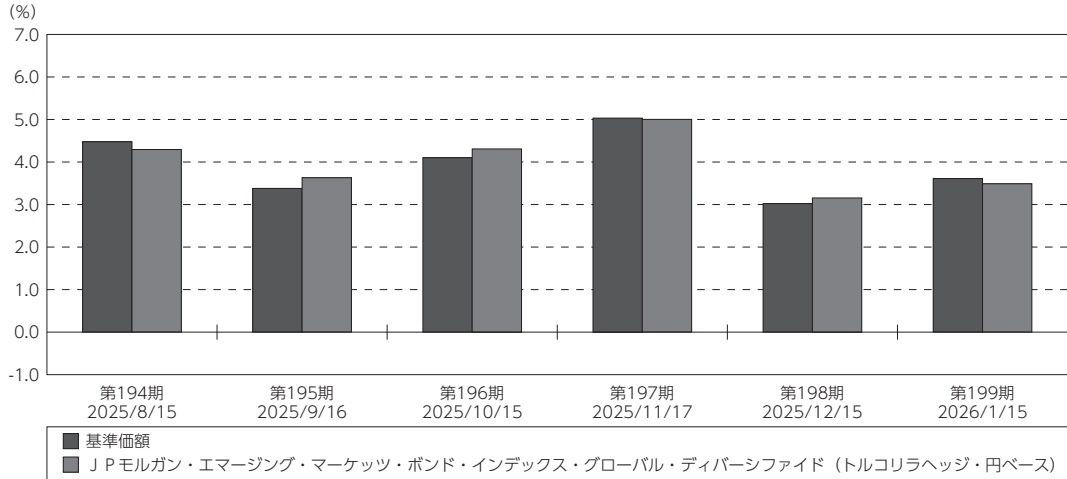
運用の基本方針に従い、国債の購入や現先取引、コールローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

（2025年7月16日～2026年1月15日）

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。  
 グラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率です。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

(注) J P モルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・ディバーシファイド（トルコリラヘッジ・円ベース）は当ファンドの参考指数です。

## 分配金

（2025年7月16日～2026年1月15日）

分配金は、運用実績や市場動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

## ○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第194期	第195期	第196期	第197期	第198期	第199期
	2025年7月16日～ 2025年8月15日	2025年8月16日～ 2025年9月16日	2025年9月17日～ 2025年10月15日	2025年10月16日～ 2025年11月17日	2025年11月18日～ 2025年12月15日	2025年12月16日～ 2026年1月15日
当期分配金	5	5	5	5	5	5
(対基準価額比率)	0.383%	0.371%	0.358%	0.342%	0.333%	0.323%
当期の収益	3	3	3	3	3	3
当期の収益以外	1	1	1	1	1	1
翌期繰越分配対象額	1,207	1,205	1,204	1,203	1,201	1,200

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

### (当ファンド)

引き続き、「PIMCO エマージング・マーケット・ボンド・ファンドⅡ トルコリラクラス」受益証券を原則として高位に組み入れ、「マネー・オープン・マザーファンド」受益証券への投資を抑制する方針です。

### (PIMCO エマージング・マーケット・ボンド・ファンドⅡ トルコリラクラス)

2026年の世界経済は、米国の関税政策が成長率の下押し要因となるものの、AI（人工知能）投資の加速や各国の財政出動などを背景に安定化し、底堅く推移する見通しです。インフレ率については地域差が見られるものの、多くの国で中央銀行の目標水準に近づくと予想されます。インフレの正常化に伴ない、金融政策は中立的または緩和的な方向へと進む可能性が高いとみています。エマージング諸国は、先進国に比べて全体的に対GDP（国内総生産）での債務比率が低く、バランスシートの安定性が維持されており、ファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）は良好です。また、投資家が米国以外へ資産を分散することによりアメリカドル安が進み、新興国ではインフレが抑制されることにより、利下げがより積極的に行なわれる可能性があります。

米国トランプ政権による相互関税によりグローバル経済の不確実性は増していますが、その影響は一樣とはならず、影響の度合いを国・地域毎に見極めることが重要であると考えています。一部の国はバリュエーション（価値評価）やテクニカル面から魅力的であり、選別的に投資機会を捉えていく方針です。こうした見通しの下、IMFによる支援などが期待されるコートジボワールなどを積極方針とします。一方、米国との貿易摩擦などのリスクが意識される中国などは消極姿勢とします。

また、原則として、ファンドの純資産相当額の米ドル売り、トルコリラ買いの為替取引を行いません。将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

### (マネー・オープン・マザーファンド)

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主要投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コールローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## お知らせ

2025年7月16日から2026年1月15日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

当ファンドについて、2025年9月1日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。

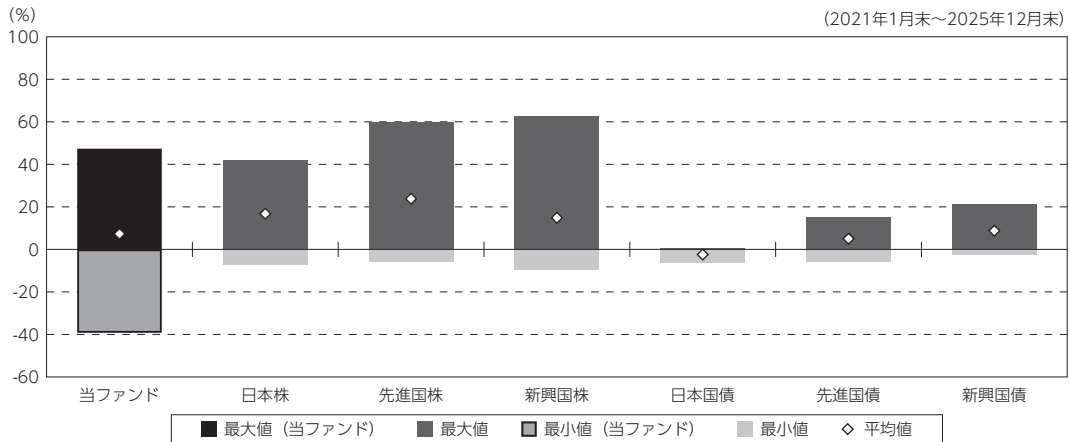
- ①委託会社である当社がその社名を「日興アセットマネジメント株式会社」から「アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。（第1条、第15条）
- ②当社の社名変更に伴ない、電子公告を掲載する当社ホームページのURLを「[www.nikkoam.com/](http://www.nikkoam.com/)」から「[www.amova-am.com](http://www.amova-am.com/)」に変更いたしました。（第46条）

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2009年7月10日から2029年1月15日までです。
運用方針	投資信託証券（投資信託または外国投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みます。）および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。）に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	「PIMCO エマージング・マーケット・ボンド・ファンドⅡ トルコリラクラス」受益証券 「マネー・オープン・マザーファンド」受益証券 上記の投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	主として、米ドル建ての新興国ソブリン債を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。投資先の投資信託証券においては、原則として、ファンドの純資産相当額の米ドル売り、トルコリラ買いの為替取引を行ないます。
分配方針	第1計算期は収益分配を行ないません。第2計算期以降、毎決算時、原則として安定した分配を継続的にこなうことをめざします。

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	47.4	42.1	59.8	62.7	0.6	15.3	21.5
最小値	△ 39.2	△ 7.1	△ 5.8	△ 9.7	△ 6.3	△ 6.1	△ 2.7
平均値	7.3	16.8	23.8	14.9	△ 2.4	5.0	8.8

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2021年1月から2025年12月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：TOPIX（東証株価指数）配当込み

先進国株：MSCI-KOKUSAIインデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド（円ヘッジなし、円ベース）

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

指数について

●TOPIX（東証株価指数）配当込みは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社J P X総研又は株式会社J P X総研の関連会社に帰属します。●MSCI-KOKUSAIインデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われるアモヴァ・アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。●JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド（円ヘッジなし、円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

## 当ファンドのデータ

### 組入資産の内容

(2026年1月15日現在)

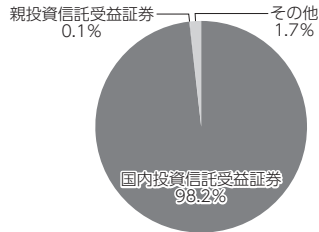
#### ○組入上位ファンド

銘柄名	第199期末
	%
PIMCO エマージング・マーケット・ボンド・ファンドII トルコリラクラス	98.2
マネー・オープン・マザーファンド	0.1
組入銘柄数	2銘柄

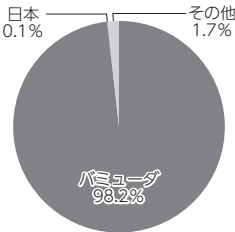
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

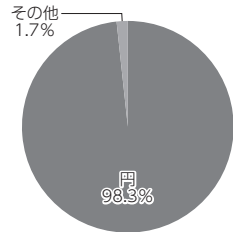
#### ○資産別配分



#### ○国別配分



#### ○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) 国内投資信託受益証券には外国籍（邦貨建）の受益証券を含めております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

### 純資産等

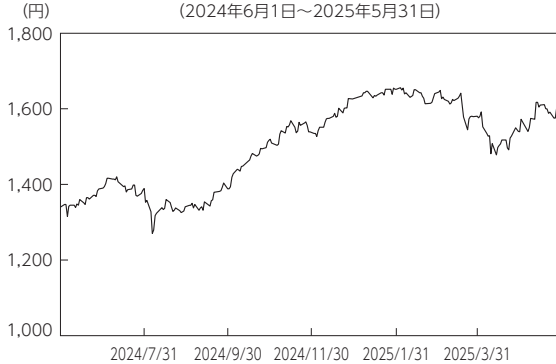
項目	第194期末	第195期末	第196期末	第197期末	第198期末	第199期末
	2025年8月15日	2025年9月16日	2025年10月15日	2025年11月17日	2025年12月15日	2026年1月15日
純資産総額	12,331,231,895円	12,577,572,370円	12,821,084,597円	13,086,009,551円	13,249,645,801円	13,217,700,169円
受益権総口数	94,700,035,838口	93,785,315,286口	92,187,735,279口	89,849,258,541口	88,614,760,252口	85,607,829,277口
1万口当たり基準価額	1,302円	1,341円	1,391円	1,456円	1,495円	1,544円

(注) 当作成期間（第194期～第199期）中における追加設定元本額は2,051,145,348円、同解約元本額は12,042,733,936円です。

組入上位ファンドの概要

PIMCO エマージング・マーケット・ボンド・ファンドⅡ トルコリラクラス

【基準価額の推移】



(注) グラフは分配金再投資基準価額です。

【1万口当たりの費用明細】

(2024年6月1日～2025年5月31日)  
当該期間の1万口当たりの費用明細については開示されていないため、掲載していません。

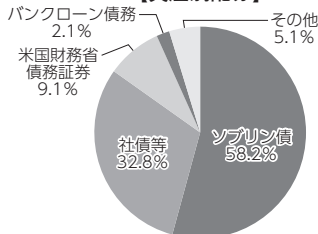
【組入上位10銘柄】

(2025年5月31日現在)

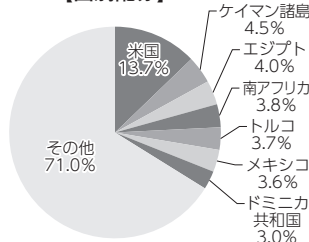
銘柄名	業種／種別等	通貨	国(地域)	比率%
1 U.S. Treasury Notes 2.375% due 05/15/2029	米国財務省債務証券	アメリカドル	米国	2.6
2 U.S. Treasury Bonds 2.000% due 11/15/2041	米国財務省債務証券	アメリカドル	米国	2.0
3 U.S. Treasury Notes 3.125% due 08/31/2029	米国財務省債務証券	アメリカドル	米国	1.9
4 Egypt Government International Bond 6.375% due 04/11/2031	ソブリン債	ユーロ	エジプト	1.2
5 Nigeria Government International Bond 6.500% due 11/28/2027	ソブリン債	アメリカドル	ナイジェリア	1.1
6 SOCAR Turkey Enerji A/S 5.931% due 08/11/2026	バンクローン債務	アメリカドル	トルコ	1.0
7 Egypt Government Bond 21.954% due 03/04/2028	ソブリン債	エジプトポンド	エジプト	1.0
8 Qatar Energy 3.125% due 07/12/2041	社債等	アメリカドル	カタール	0.8
9 U.S. Treasury Bonds 1.750% due 08/15/2041	米国財務省債務証券	アメリカドル	米国	0.8
10 Colombia Government International Bond 7.375% due 09/18/2037	ソブリン債	アメリカドル	コロンビア	0.7
組入銘柄数	472銘柄			

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。  
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。  
(注) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

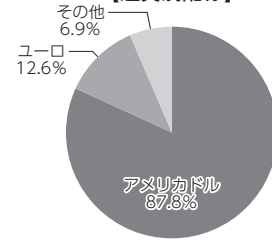
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】

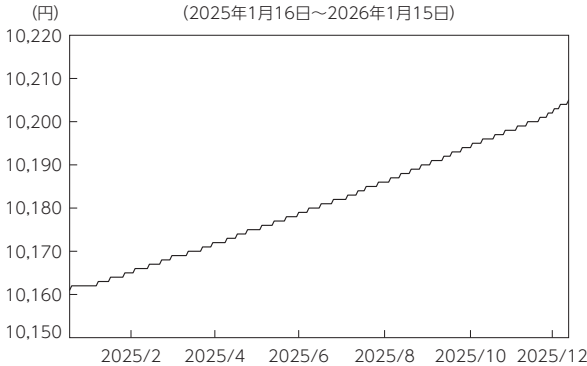


(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。  
(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。  
※組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分については、実質的な運用を行なっているPIMCO エマージング・マーケット・ボンド・ファンド (M) の情報です。

マネー・オープン・マザーファンド

【基準価額の推移】

(2025年1月16日～2026年1月15日)



【1万口当たりの費用明細】

(2025年1月16日～2026年1月15日)

該当事項はございません。

【組入上位10銘柄】

(2026年1月15日現在)

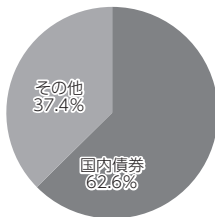
	銘柄名	業種 / 種別等	通貨	国 (地域)	比率 %
1	第457回利付国債(2年)	国債証券	円	日本	62.6
2	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-
9	-	-	-	-	-
10	-	-	-	-	-
組入銘柄数			1銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

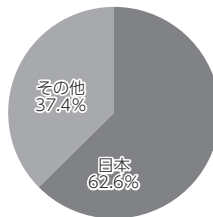
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

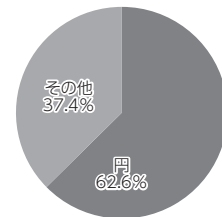
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。